

事業計画書

1 対象事業名

令和7年度〇〇〇〇〇〇事業

2 事業の概要

（1）目的

本県ならではの「〇〇〇〇〇〇〇〇」というコンテンツは、他県にはない、本県独自のものである。このコンテンツを活用し、●●●●●●●●において、〇〇〇〇〇〇〇〇と■●●●■●●を組み合わせた▼▼▼▼▼▼▼を実施することで、県内からの参加はもとより、県外からも多数の観光客の来県が見込まれ、県内のにぎわい創出の一助となる。

また、「〇〇〇〇〇〇〇〇」というコンテンツは、～～～～～の分野で、■●●●■●●となっており、令和10年度以降は、多数の参加が見込まれることから、令和7年度から、「徳島県は〇〇〇〇〇〇〇〇の聖地」と呼ばれるよう、情報を発信していく。

（2）日時

令和7年●月■日（▲）～●月□日（△）の2日間（予定）

（3）場所

■●●●■●●

※会場は調整中のため、変更の可能性あり（会場とは調整中）

（4）申請メニュー（該当するものに○）

・地域資源、伝統文化、スポーツの活力により、地域のにぎわいの創出に資するもの

・サブカルチャーの要素が主たる目的のもの

（5）内容

●月■日（▲）

午前●時頃から会場中心部にてイベントをスタート。

午後●時頃まで、会場及び関係施設に設置する■●●にて、様々なイベントを実施する。

出演者：●●、●● 他△名

●月□日（△）

午前●時頃から、本イベント「第2部」として、■●●■●●にて●●●●●●を実施する。

午後●時頃まで●●●●●●を実施し、●時頃、最終演目を実施する。

出演者：●●、●● 他△名

(6) 新しい要素【継続イベントのみ】

【新規イベントの場合】

新規イベントのため、該当なし

【継続イベントの場合】

令和6年のイベントの際の内容は、●●●●●●や■●●●●●や▼▼▼▼▼▼。
(別添チラシ参照)

令和7年度においては、△△△△を実施することで、新しいターゲット層を開拓することができ、徳島県に新しいにぎわいが創出される。

(7) 事業収入確保のための取組

入場料収入●●●●●●円、広告料●●●●●●円、協賛金●●●●●●円を基本とし、関係商品の売上げを積み重ねていく。

【入場料収入】 ●●●●●●円×■●●●●●名

【広告料収入】 ●●●●●●円×●●●●●●社

【協賛金収入】 ●●●●●●円×●●●●●●者

【商品売上】 ●●●●●●円×●●●●●●名(当日の入場者数の●●%が購入想定)

(8) 特徴

①にぎわいを普及・発展させる観点から考慮した点

過去、「○○○○○○○○」というコンテンツは、広く周知されてこなかった。

そこで、幅広い情報発信を●●●●●●を活用することで行い、県内の事業者とも共有することで、継続的ににぎわいの創出につながることが想定される。

また、毎年規模を拡大させながら実施することで、「徳島県＝○○○○○○○○」という「聖地」と認識されることにより、県外から数多くの観光客が来県されることが期待できる。

②事業の新規性や将来性から考慮した点

令和●●年に○○○○の大きな大会が実施される予定になっており、「○○○○○○○○」というコンテンツは今後、日本国内でも人気が出ることを想定される。

いち早く徳島県にて本イベントを開催することで、将来的に数多くの観光客を囲い込むことができる。

(9) 参加者見込み

・参加者	延べ	1, 0 0 0	名
・上記のうち県外からの来場者	延べ	5 0 0	名
・オンラインでの参加者	延べ	1, 0 0 0	名

(10) 参加者数の集計方法

＜例 1＞

- ・チケット販売数
- ・アンケート取得数
- ・1時間ごとの定点観測数

を総合的に勘案して、参加者数を算出する。

＜例 2＞

一定範囲を定めてその範囲内を最盛時間に移動しながら利用者を数え、これに回転数と全面積をかけ、さらに一定範囲の面積で割って入込客数を推計する。

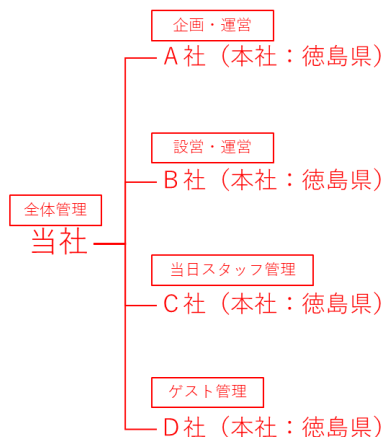
(11) アンケート見込み

延べ 500 名

(12) 実施体制

県内の事業者による本事業への関わりなど、本県への影響等を記載すること

全体を●社が実施し、イベント実施に向け、4社と協力してイベントを計画していく予定。



(13) 業務遂行のためのスケジュールや情報発信の手法

令和7年●月■日 (▲) のイベント実施に向け、以下のスケジュールを予定している。

- 月頃 : キックオフミーティング
- 月頃 : 会場等手配完了
- 月中旬 : イベント内容確定
- 月頃 : Aを活用した情報発信 (●●名閲覧想定)
- 月頃 : Bを活用した情報発信 (●●名閲覧予定)
- 月□日頃 : 最終調整
- 月■日 : イベント実施

(14) 類似実績

令和5年●月□日 : ●●●●主催 (来場者数■■■■■名)

令和6年●月□日 : ●●●●主催 (来場者数■■■■■名)

3 事業実施の効果

本事業は「○○○○○○○○」を活用することで、徳島県に■■■■■■■■という効果をもたらすことができる。

その効果に付随して、△△△△や●●●●に対し、〜〜〜〜という意識や、▼▼▼▼▼▼という広告効果をもたらし、年間を通じたにぎわい創出の一助となる。

また、徳島県民に対しても、●●●●という効果があり、継続的な△△△につながることを期待できます。

4 事業完了予定年月日

令和 7 年 10 月 31 日

※詳細は図や写真等を活用し「事業計画書補助資料（自由様式）」にて提出すること

収 支 予 算 書

1 収入の部 (単位：円)

区 分	本年度予算額	備 考
【事業収入】 チケット販売 協賛 補助金 自己負担金	1,000,000 500,000 1,660,000 90,000	@5,000 円×200 250,000 円×2（〇〇株式会社、□□株式会社） 補助金を入力してください。
計	3,250,000	自己負担金で調整し、支出の計と合致させてください。

2 支出の部 (単位：円)

区 分	本年度予算額	備 考
【出演費等】 出演料 企画制作料	1,000,000 500,000	〇〇〇〇出演料 イベント企画料
【運営費等】 人件費 機材借料 会場使用料 会場設営費 会場撤去費	700,000 500,000 200,000 100,000 100,000	当日運営スタッフ 70,000 円×10 名=700,000 円 当日運営機材借料 〇〇ホール使用料 前日設営 当日撤去
【旅費・報償費】 講師旅費 講師謝金	50,000 30,000	講師航空券（東京・徳島間往復） 謝金
【雑役務費・ 消耗品費等】 広告宣伝費 保険料 消耗品費	500,000 100,000 100,000	雑誌広告費 100,000 円×5 社=500,000 円 イベント保険 運営用消耗品
計	3,250,000	収入の計と合致させてください。

(注) 「備考」欄には、詳細な内訳を記入すること。なお、別様式での提出も可能とする。